

関東大会を経験して！3日間同行、応援に参加して感じたこと、孝介君の試合を観戦して思ったこと、東京都大会よりも上位大会を見て感じたこと、今後の自分に活かしたいこと・活かせること などなど 部員が学んだことを綴ってみました。 2024.11 田無高校柔道部

= 2年生の感想 =

今回の関東大会の応援を終えて、自分も石倉と同じ場所に立ちたいと強く思いました。石倉はやっぱり見ていて応援しがいのある良い試合を部員全員の前でやって見せて、みんなの士気を高める石倉なりのキャプテンらしさを見せていました。また、学校やクラスの皆、そしてOBの方々にも応援してもらっていました。その姿を見て石倉を調子に乗らせてこのまま部活を終わらせるのは悔しいと思ったので、自分たちの目標でもある関東大会出場で石倉だけにいい顔をさせないようにしたいと思いました。そして、石倉以外の子達が石倉を越えられて、倒せるように手伝いたいと思ったし、私も石倉を倒すのもひとつの目標にして頑張りたいと思いました。 【2年NH】

目指していた関東大会出場を孝介が決めた時は本当に自分のことのように嬉しく、感動して泣いてしまいました。同じ道場で練習し、日々頑張っている姿を側で見ていたのでおめでとうという気持ちでいっぱいでした。関東大会本戦までも、様々なところへ練習に行き、色々な方々の支えも沢山あったと思います。結果としては、2回戦敗退でしたが、孝介自身も、応援していた私たちもたくさんのことを学ばせてもらえたと思います。また、他の県の強い選手たちの熱い戦いを見れたことは関東大会に連れて行ってくれた孝介のおかげです。関東大会を通じて学んだことをこれからの練習に活かして、今度は自分がみんなを関東大会に連れて行けるように頑張ります。 【2年SK】

関東に出た石倉くんは都立高校としてもものすごい功績を残したと思います。このことは自分としてだけでなく田無高校としてとても嬉しいことでした。そのほかの選手もとても綺麗な柔道をしていてこの経験を普段の柔道にも活かしていきたいと思います。 【2年KH】

打ち込み準備の質の高さ、手を抜かずに何事も全力にやっている、そこに感激を受けました。そしてその場に同級生の石倉が立っていて少しでも石倉に近づきたい超えていきたいと思うよになりました。今後は、そのことが実現できるように生活面でも何事も一所懸命に頑張っていきたいです。 【2年YK】

関東大会という今までなかったことだからこそ、普段の経験を活かしていく難しさをより実感しました。だから練習をより自然に持つていくことは実生活でも必要だと思うので活かしていきたいです。 【2年KK】

関東大会に応援しに行つて思ったことは、他校の応援より自分たちの方が人数も多く一生懸命応援をしたので、応援では負けてないなと思いました。そして、石倉の試合を見て思ったことは、もちろん石倉はうまかったし技ありなどもとりましたが、やっぱり体力は大事だなと思いました。残りの数秒でどれだけ頑張れるのかがやっぱり大事なのかなと思いました。東京都よりも上位の試合を見て思ったことは、打ち込みや試合はやっぱりすごいなと思いましたし、その大会の空気感なども色々知れました。今後の自分に活かせることは、自分の限界を決めずに最後まで諦めずに一つのチャンスを自分のものにすることだと考えます。 【2年RY】

関東大会ともあって、動画でも見たようにアップの時の気合いが都大会とはまた一つ違った雰囲気でも迫力があつた。そういった場で一緒に練習している石倉が頑張っている姿を見て、自分もそこに立ちたい。と思いました。 【2年KI】

関東大会の応援に参加した所で、初めての場所だったしアウェイの雰囲気を感じました。石倉が2回戦の後半息切れを起こしたのもそれによる緊張ではないかと思いました。今後は、柔道部全員で試合に集中できる雰囲気を作りたいと感じました。また、自分に自信をもてるよう言い聞かせることも大事だと思いました。 【2年 YW】

試合前の打ち込みを見て、どの選手も強そうな中で身近な石倉がいるという凄さ。 【2年 JM】

突然の病気で応援に行くことが出来なかったけれど、実際の試合を録画で見た際、石倉を含めた他の選手も技を腰をきって受けていて、相手が潰れた時にすぐ寝技に入るだけではなくて返し技も使い、自分の有利な状況を作ったり、ひとつの技だけを狙いすぎずに状況に合わせた技を掛けたりして、自分が1番やりやすい状況を作っていた。これらの動きを自分の練習にも取り入れたいと思った。 【2年 YY】

### マネージャー

今までみんなで目指していた関東大会の出場が決まった時は、自分のことのように本当に嬉しくて、ここまで柔道部のマネージャーを続けてきてよかったと改めて思いました。関東大会当日いざ会場に入ると、都大会の時には敵である「足立学園高校」や「岩倉高校」が隣にいて、この大会では「東京都」を代表して出場している全ての学校が一丸となり挑む大会だと実感し、応援はもちろんのこと尊敬の意をもって観戦していました。いつも一緒に活動している仲間が関東大会の畳に上がっていると思うと感慨深いものがありました。石倉は家庭の中で辛いことがあって、きっと辛い気持ちは抱えながらも、試合のときはそれを忘れさせるような力強く粘り強く、最後の1秒まで戦い抜く姿を見て、私も最後まで諦めないで勉強や部活などに取り組もうと思いました。この思い出は大人になっても一生心の中に残ります。感動をありがとうございました！ 【2年 KF】

今回、みんなで目指していた関東大会に石倉が出場することになって、正直あまり驚きはありませんでした。驚きよりも関東大会に連れてきてくれてありがとうという気持ちと、マネージャーにできることを全力でしようという気持ちでいました。去年の都大会では一回戦負けだった石倉が、係をしている私たちのところへ一回戦勝ち進むごとに勝った！と報告しにきてくれたのがすごく嬉しく、それと同時に石倉本人が輝いていました。それは今までのきつい練習、合宿、出稽古を乗り越えてきたからこそその輝きだと思ってます。関東大会ではすごく緊張していて心配でしたが、一回戦目勝ったときすごくすごく嬉しくて、田無柔道部でいることが誇らしく、石倉と関わったことも誇らしく、その石倉をここまで育ててくださった柳浦先生と関わったことも誇りに思い、感動しました。関東大会はやっぱり1つレベルがちがいで、2回戦目は負けてしまいましたが、全力で大声で応援できたことは一生の宝物です。大切な経験をさせてくれた石倉に感謝し、今後後輩が関東大会にでれることになったら、もっともっと頼れるマネージャーになれるように成長していきたいです。貴重な経験と大きな感動をありがとうございました。今後もみんなのことを支えていきたいです。 【2年 KH】

= 1年生の感想 =

こんな貴重な体験をして心が震え、大きな感動がありました。石倉先輩の内股が強くてかっこよくて、僕も強くならなければいけないと思いました。石倉先輩のような努力家の柔道家になろうと思います。

【1年 KN】

関東大会の応援を通して僕は、あの場まで行った孝介先輩が輝いて見えました。都大会の舞台は何度も見てきました。関東という大舞台を前にプレッシャーがあったと思いますが、それに負けず自分の柔道をしていました。僕もそんな大きい舞台の場で、自分自身の柔道をやりたいなと思いました。様々な人の思いを背に大舞台で闘う孝介先輩みたいな人に僕もなりたい。そのために日々の稽古に感謝の気持ちを持ちながら取り組んでいきたいと思っています。

【1年 YY】

石倉先輩の試合を見て1試合目は全体的に相手よりも技を多くかけて自分有利の状況を作っていたのがすごいと思いました。2試合目は時間が進むにつれ技のキレイや回数が減ってきて自分の柔道ができていないと感じました。自分も試合をやっていて同じようになってしまうことが多いので日々の稽古でそのようなような欠点を減らしていけるようにしたいと思いました。

【1年 RO】

まず、カッコいいと思いました。そしてまだまだ壁は厚いと感じました。今後は自分の悪い所を一つ一つ直していき、自分もカッコいい柔道家になりたいと思いました。

【1年 YK】

関東大会で自分は、数多くの人にリスペクトされてる石倉先輩をみて、自分もリスペクトされるようになりたいなと思いました。

【1年 KI】

関東大会に行って打ち込みの雰囲気から違うなと感じました。これから試合などのアップのときにはしっかりと打ち込みを意識していきたいと思いました。

【1年 MK】

関東大会を通して思ったことは、大会に行くためにはたくさんの人の応援や助けが必要だということです。柔道は自分の為に勝つこともそうだし、応援してくれている人のためにも勝たないといけないと思いました。また関東に出ている選手を見ていて体も全く違うのもそうだし、心の強さ的なものも違うと感じました。今後は強くて応援される選手になりたいです。

【1年 KA】

石倉先輩でも1試合であれだけ消耗していたので自分の体力では全然だめだと感じました。60kg級の試合でも力が強いのが印象だったので自分も体力をつけないといけないと思いました。

【1年 GN】

関東大会を見て僕は、空気が重いと感じました。この空気で戦う先輩はとてがかっこよかったです。また出場している人の打ち込みは、参考にしていきたいです。

【1年 MS】

関東大会を見て、どの選手も単発で技が終わらず、技を繋げる動きがあったので、自分も見習っていききたいと思いました。

【1年 TI】

私は、関東大会の帯同として連れて行かせて貰いました。そこでは、支部大会や都大会では感じた事のない緊張感を感じることが出来ました。また、石倉先輩の試合を見て次は絶対に自分が関東大会に行きたいという気持ちになりました。今後の自分に出来ることは、今の2年生の方々と一緒に居られる時間は少ないため、日々の練習を大切にし沢山学ぶことだと思っています。

【1年 TT】

関東大会に同行して思ったこと。アップの時間に見た他の学校の打ち込みや投げ込みがしっかり崩しがあって威力のある打ち込みをしていたことです。自分も練習の打ち込みなどで意識しようと思いました。 【1年 K S】

マネージャー
--------

関東大会をみて、普通の大会とは全く雰囲気違って、いつもよりも緊張感があって、私たちまで緊張してしまうほどの大会でした。石倉先輩の試合では、最終的には負けてしまったけれど、その負けてしまった試合でも、沢山の人が応援していて、石倉先輩には味方がたくさんいるんだなと改めて感じました。私は柔道の技の具体的なことはあまり知らない部分もありますが、それでも、石倉先輩の試合はすごく心に残るもので感動しました。この感動は、私のこれからのマネージャー生活に、強く響くと思いますし、もっともっと選手を応援したいと思えました。まずは、きえ先輩やここね先輩、ゆずに追いつくところから頑張ります。素敵な試合をありがとうございました。 【1年 R O】

私は、石倉先輩が練習しているところをたくさん見てきて、関東大会が決まった瞬間は感動がおおきかったです。会場は空気がいつもとは違い、緊張感が漂っていて、私もとても緊張しました。でも、応援している時はみんな一致団結して声を出していて、いい部活だなと感じました。とても良い経験となりました！ 【1年 Y T】